春日居中学校屋内運動場

内壁改修工事



笛吹市

統番	図面番号	図 面 名 称	縮尺
1	A - 00	表紙・図面リスト	No Scale
2	A - 01	特記仕様書	No Scale
3	A - 02	案内図・配置図	No Scale
4	A - 03	平面図	1:200
5	A - 04	展開図(東面1)	1:50
6	A - 05	展開図(東面2)	1:50
7	A - 06	展開図(南面)	1:50
8	A - 07	展開図(西面1)	1:50
9	A - 08	展開図(西面2)	1:50
10	A - 09	階段詳細図	1:30
11	_		

春日居中学校屋内運動場 内壁改修工事特 記 仕 様 書 I 工事 概 要 1 工事名称	1)請負契約の締 仮設工事等が 又は監理技術 請負完成け 2)工事付け等し 後片を要しな	監理技術者の選任について 結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は 開始されるまでの期間:工事始期日以降30日以内)については、主任技術者 者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、 結後、監督職員との打合せにおいて定める。 検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合を除く)事務手続き、 みが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への い。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した旨、請負者に 「完成検査結果通知書」等における日付)とする。	仮 2 3	. 仮囲い 交通誘導員) 工事表示板) 足場その他	・ ※ ※ 内外防材 労働・診 画 黙 反反シの 路音者	E場 ・ パ シート ※ 言 シ運搬 ・ パ ※ E 発用くさび緊結式 『及場を設ける場) (H=	鉄板 (H=)) 枚 B設B種 い・・ C C C C C C C C C C C C E 関	箇所 〈2. 種 · D種〈表2.	2. 1> 2. 2> 生 8-2	抜取試験	規格名称 種類の配号 径(m 鉄筋コンクリート用棒鋼 ※ SD295A ※ D16 ※ SD345 ※ D15 ※JIS G 3551規格品(※ 6.0 φ × 100×100 ・ 径 19 mm 以上 ※ ガス圧接 ・ 重ね継手 ・ H型 ※ W2 1型 ・ W2 II型) ※ 超音波探傷試験 ・ 引張り試験	5以下
ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書(最新版)」 (以下「標準仕様書」という。) による。 なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。 2. 特記仕様 1) 項目は、番号に〇印のついたものを適用する。 2) 特記事項は、① 印のついたものを適用する。② 10のつかない場合は※印のついたものを適用する。③ 1時記事項は、② 印のついた場合は、共に適用する。 3) 特記事項に記載のく >、())内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」 及び「標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。 3. 施工基準 本工事は下記により完全に施工するものとする。		※ 適用する(請負精算額が500万円以上の場合) <1.1.4>	9	. 監督職員事務所. 工事用水. 工事用電力. 工事用通路. 木材の品質	構内目構内目 ※ す	で 既存の施設 ① ・ ・ ・ ・ ・	利用できる () 利用でききない (※) ※ 溶できまない 利用できない 指定する ・ 市販品	・ 有償 ・ 無(・ 有償 ・ 無(の消費電力の大: (図示)	賞)	ンクリートエ事	 レディー ミクスト コンクリー 打放し 仕上げの種; セメントの 種類 		(8. 1. 4) (表8. 1. 3) (名. 2. 5)
建築基準法、 消防法、 その他関係政省令、 監督職員の指示事項 4. 一般事項 1) 提出書類の適用基準類は以下とする。(作成・納品の基準、納品する資料の範囲等) 工程表 施工計画書 ・ 設備機材等選定表 ・ 機器類製作図 完成写真 ・ 京成図面 ・ 元成図面 ・ 初出書 ・ 表述の面 ・ 分別・フ・アー・フ・アー・フ・アー・フ・アー・フ・アー・フ・アー・フ・アー・フ・ア	共 (CORINS)の 登録	受注時、変更時及び完了時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録 手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 (請負額が2,500万円未満の場合は、受注時のみ) ・ 適用しない (1.3,10) 工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するととも に、事故報告書を指示する期日までに監督職員に提出する。 環境への配慮 (1.4.1) ※ ホルムアルデヒド仕様 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。 普通合板、複合フローリング等 :日本農林規格(JIS)F☆☆☆☆ ケース類 :日本工業規格(JIS)F☆☆☆☆ クース類 :日本工業規格(JIS)F☆☆☆☆	工 ③ 事) 樹種) 集成材等) 接着剤	・代 ・集 ・構 ・構 ・下: ホル	造用集成材 作材 地材 ムアルデヒドの加	規格・品質 ・一般材 ・1種・2種 ・1等・2等 ・1等・2等 大散量	************************************	・すぎ -ス・カラマリ ・第三種	<u>)</u>	5. 骨 材 6. 混和材料 7. 軽量 コンクリー 8. 無筋 コンクリー	種別 適用 箇 所 気乾単位容 適用箇所は 6.14.1>によるほか、下記による。	下
5)高度技術・創意工夫・社会性等実施状況について、請負者は、工事施工において、自ら立案 実施した創意工夫や技術力に関する項目、または地域社会への貢献として評価できる項目に 関する事項について、工事完了までに所定の様式により提出することが出来る。 6)適正な下請負契約を確認するため、下請負属を提出する場合は次の書類を添付すること。 a 下請負契約書(請書等)の写し(元請負額が500万円以上) b 下請負業者の建設等計可書の写し(下請什金額が建築は1,500万円以上) c 下請負業者における「指定建設業監理技術者資格証」の写し (下請付金額が建築は1,500万円以上)	① 特別な材料の工法	内装工事に使用する塗料及び接着剤 : 化学物質等製品安全データシート (MSDS) 等にホルマリン 材料の品質等 (1.4.2) ※ 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。 特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。) 防腐・防蟻処理 床板張り	ア. 行う 防. 防.	ルデヒド系防腐剤 規制対象外 箇所(腐処理 ※行う 蟻処理 ・行う 腐、防蟻処理の利	刊を用いた接着 ・第三種 (※図示 ・ 重類、品質 展存剤 (防腐・ 甲板張り床	削のホルムアルデ	ルシノール樹脂又はホ ヒドの放散量)) (12.2.) (12.7.) (12.7.1) (表12.7.	ි රිං <u>8-3</u>	9.型枠 10.コンクリー の打込みエミ 11. 既存部分の 撤去 1. と施エ アンカー	せき板の種類 ※ 合板 せき板の塗料 ※ 無 ・ 有 ※ 流込み工法 ・ 圧入工法 既存仕上げの撤去範囲 ※ 図示 既存躯体の撤去範囲 ※ 図示 ※ 接着系アンカー 〔引張耐力 38.2 (KN), せん態 接着剤 ※ 有機系 ・ 無機系	(8. 2. 6) (8. 19. 8)(8. 21. 5) (8. 19. 2, 3) (KN)]
6. 特記事項 1) 材料搬入は、西側グラウンド門扉より行うものとする。 2) 本設計図書の内、内部足場は施設の状況、作業方法により変動するため設置位置については図面等に記入の寸法・形状は参考とする。 3) 学校運営中の作業となるため、必要に応じて、生徒及び周囲への安全の配慮のための仮設工を行い、又これらは関係者と充分協議して決定する。 4) 施設は通常運営中であるため、施設の通常業務に支障が無いよう配慮すること。 5) 木材の品質については、既存の木材との調整を考慮し、十分検討した上で、サンプルなどを監督員に提出の上、施工前に承認を得るものとする。 密装色については学校側と協議の上、決定するものとする。 ※下地材の固定ピッチについては現場に即した施工を行うこと。 7) 特別な事情がない限り、学校校舎内への進入は禁止する。	12. 設計 G L ③ 技能士	・図 示 ※ 現状平均地盤高 ・ 下表で技能士を適用することとした職種に、1級又は	12 ①)ボード張り	股才 ———	l l	・板張り フローリング 19.5.2による)	ホルムアルデヒドの放 ※規制対象外 - 第 ホルムアルデヒドの放 ※規制対象外 - 第 ※ひのき -	散量三種	- 工 - 事	 あと施工 アンカーの 試験 接着系 アンカー 3. 接着系 アンカー 	金属系アンカー (引張耐力 (KN)・せん断而 打込み方式 ※ 本体打込み式 性能確認試験 ※ 行わない ・ 行う 施工確認試験 ※ 行う ・ 行わない 格脂カプセルアンカーの仕様は以下の同等品とする。 ケミカルアンカー (日本デコラックス) ARケミカルセッター (旭化成工業)	<8. 2. 4> <8. 11. 5>
7. 共通事項 1. 共通事項 1. 共通事項 1. 共通費実態調査 本工事は、請負者による営繕工事の実施状況を費用の面から把握し、発注者における工事		・ コンクリート圧送(コンクリート圧送工事作業) 鉄骨工事 ・ とび(とび作業) 防水工事 ・ 防水施工(・アスファルト防水工事作業 ・ 合成ゴム系シート防水工事作業 ・ 塗膜防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ シーリング防水工事作業 ・ と変核な (内外装板金作業) ・ スレート施工(石綿スレート工事作業) ・ かわらぶき(かわらぶき作業) ・ の数性上施工(鋼製下地作業) 左官工事 ・ 左官作業	内装工事		・普通・サル・ロッ(軒	種 類 ボモセメント板 ボモセメント板 酸カルシウム板 クウール化粧吸音板 クウール化粧吸音板 フホード 積層せっこうボード		コ・15 ・20 コ・15 ・20 タイプ2 (無石綿) ※フラットタイプ ・凹凸タイプ (※1 ・凹凸タイプ (※1	25 · (·6 · 8 ©12) ((·6 · 8 ©12) ((※9 (不應) · 12 ·)) 2 (不應) · 15 · 19 ·)) 9 (不應) 2 · 15) (不應)	。	2. 鋼材の種類	国土交通省の認定を受けた工場 ・ S H ・ M ・ R ・ 本物件と同等規模構造の施工実績を有している工場で、 監督職員の承諾する工場 材質 規 格 ・ SS400 ※規格品 (JIS G 3101) ・8.2.12(a)1 ・ SK400 ・ 規格品 (JIS G 3444) ・8/2.12(a)1	8. 2. 7><表8. 2. 5> 「三合格するもの 三合格するもの 三合格するもの こ合格するもの
積算に積算に適切に反映することを目的とした、共通費実態調査の対象工事である。 尚、調査票は、監督職員から配布するものとする。 2) 産業廃棄物 本工事で発生する産業廃棄物は適正に処分すること。 また、建築副産物実態調査の対象工事であるため、請負者は「建築リサイクルデータ 統合システムー CREDAS」により、再生資源利用計画書等を作成し、電子データを FD等により監督職員に提出すること。 8. 補足事項 1) 本工事に使用する建設機械は「排出ガス対策型建設機械指定要領」に基づき、指定された	⑤ 完成図等⑦ 設備工事との		-		・シー ・強化 ・化粧 ・難燃 ・メラ	ジングせっこうボート せっこうボード こうラスボード せっこうボード (木目	GB-S GB-F GB-L H) GB-D	12.5 (不燃) 12.5 (不燃) 15. 9.5 9.5 (不燃) 幅440m 模樣 (※柾目 - #	有 (トラパーチン模様) ① (不燃) ○ (不燃) ○ (再度) ○ (再月下地材付き ② (ラワン合板程度) ○ (な合板程度) 「厚さ1.2	-		支 〈7.3.2〉による。	<8. 2. 8> 8. 14. 11> <8. 14. 12> <8. 16. 3>
排出ガス対策型建設機械を使用するものとする。) 暴力団等からの不当要求及び工事妨害の排除 a 請負者は、工事の施工に当たり、暴力団等からの不当要求及び工事妨害を受けた場合は、その旨を直ちに発注者に報告するとともに、所轄の警察署に届出を行い捜査上必要な協力を行うこと。 b この場合において、工程等を変更せざるを得なくなったときは、速やかに発注者と協議すること。 c 請負者が(a)の報告等を怠った場合は、「笛吹市建設工事に係る指名停止等措置要領」に基づき、指名停止措置を行うこととする。 7 不正軽油使用の排除 a 請負者は、工事の施工に当たり、使用する車両及び建設機械等の燃料として、不正軽油を使用してはならない。 b 請負者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合にはその調査に協力しなければならない。		施 工 図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して 監督職員の承諾を受ける。			- 単板張リパーティクルボード			-	7. 耐火被覆 8. アンカー ボルト 9. 既存都分の 撤去				
特 記 1 2 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3				承認	所長	担当 設	原版用紙サイ	Nonscale x* A3サイズ	工事名称		春日居中	中学校屋内運動場内壁改修工事	A-01















